

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第56期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	ヤスハラケミカル株式会社
【英訳名】	YASUHARA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 安原 禎二
【本店の所在の場所】	広島県府中市高木町1080番地
【電話番号】	0847(45)3530(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部部长 青山 勝則
【最寄りの連絡場所】	広島県府中市高木町1080番地
【電話番号】	0847(44)6083
【事務連絡者氏名】	経理部部长 青山 勝則
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第2四半期累計期間	第56期 第2四半期累計期間	第55期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	5,559,351	5,631,274	11,037,667
経常利益(千円)	107,586	238,373	270,294
四半期(当期)純利益又は四半期純損失 ( )(千円)	26,000	162,935	88,842
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	1,789,567	1,789,567	1,789,567
発行済株式総数(株)	10,839,663	10,839,663	10,839,663
純資産額(千円)	16,537,010	16,771,336	16,661,885
総資産額(千円)	22,505,488	21,281,039	22,393,182
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1 株当たり四半期純損失金額( )(円)	2.53	15.86	8.65
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純 利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	6.00	6.00	12.00
自己資本比率(%)	73.48	78.81	74.41
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	101,425	2,170,244	96,002
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	380,622	188,089	470,602
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	173,458	1,475,708	101,247
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,345,595	1,706,394	1,196,942

回次	第55期 第2四半期会計期間	第56期 第2四半期会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額( )(円)	2.66	10.91

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書の提出日現在において当社が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待感から円高の是正や株価の回復など一部に明るい兆しがみられました。しかしながら欧州債務問題の長期化に対する不安感や、新興国の成長鈍化への懸念などから先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましても、国内需要の低迷、原材料高や企業間における価格競争の激化等、大変厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進し販売の拡大に努力する一方、全社にわたり生産効率のアップ、業務の効率化を実施し、収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高5,631百万円（前年同四半期比101.3%）、経常利益は238百万円（前年同四半期比221.6%）、四半期純利益は162百万円（前年同四半期は26百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### テルペン化学製品

粘着・接着用樹脂においては、粘着剤、プラスチック改質用途のテルペンフェノール樹脂が堅調に推移いたしました。電気絶縁テープ用途のテルペン樹脂及び包装材料用途の変性テルペン樹脂が、輸出を中心に低調に推移いたしました。化成品においては、香料用途は堅調に推移いたしました。ペースト溶剤用途及び機能化学品用途が需要低迷の影響を受け、売上が大幅に減少いたしました。その結果、当事業全体の売上高は4,097百万円（前年同四半期比98.0%）、セグメント利益は445百万円（前年同四半期比88.0%）となりました。

#### ホットメルト接着剤

ホットメルト接着剤においては、食品用途の押し出しコーティング用ホットメルト接着剤及び自動車部品用途が輸出を中心に好調に推移いたしました。その結果、当事業全体の売上高は1,295百万円（前年同四半期比115.7%）、セグメント利益は48百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

#### ラミネート品

ラミネート品においては、製本向け光沢加工紙用ラミネートフィルムが国内需要の低迷と価格競争の影響により低調に推移いたしました。その結果、当事業全体の売上高は238百万円（前年同四半期比92.2%）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期は7百万円の損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローは2,170百万円の収入（前年同四半期は101百万円の支出）、投資活動によるキャッシュ・フローは188百万円の支出（前年同四半期は380百万円の支出）、財務活動によるキャッシュ・フローは1,475百万円の支出（前年同四半期は173百万円の収入）となり、前年同四半期会計期間末に比べ360百万円増加し、1,706百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は2,170百万円（前年同四半期は101百万円の使用）となりました。

これは主に売上債権の増減額194百万円の減少、前渡金の増減額388百万円の減少等ありましたが、税引前四半期純利益234百万円の増加、たな卸資産の増減額2,107百万円の増加等あったこと及び、法人税等の支払額が前年同四半期は441百万円ありましたが、当四半期は297百万円の還付があったことが要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は188百万円（前年同四半期は380百万円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出111百万円増加等あったことが要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,475百万円（前年同四半期は173百万円の獲得）となりました。

これは主に短期借入金の純増減額1,600百万円減少等あったことが要因であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発活動の金額は、107百万円であります。

なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	10,839,663	10,839,663	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	10,839,663	10,839,663	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	10,839,663	-	1,789,567	-	1,728,997

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ワイエス興産有限会社	広島県府中市高木町424 - 5	1,237	11.41
安原禎二	広島県府中市	1,191	10.99
ヤスハラケミカル取引先持株会	広島県府中市高木町1080	703	6.49
敷田憲治	広島県府中市	694	6.41
株式会社中国銀行	岡山市北区丸の内1丁目15 - 20	511	4.72
榎本 通	広島県府中市	504	4.65
沖津妙子	広島県福山市	462	4.27
有限会社宗江	広島県府中市府川町260-9	373	3.45
有限会社マキ	広島県府中市目崎町70 - 1	373	3.45
ヤスハラケミカル従業員持株会	広島県府中市高木町1080	286	2.64
計	-	6,338	58.48

(注) 上記のほか、自己株式が564千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 564,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,264,700	102,647	-
単元未満株式	普通株式 10,863	-	-
発行済株式総数	10,839,663	-	-
総株主の議決権	-	102,647	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が700株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数7個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
ヤスハラケミカル 株式会社	広島県府中市高木町1080 番地	564,100	-	564,100	5.20
計	-	564,100	-	564,100	5.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,468,023	2,006,527
売掛金	2,219,650	1,986,779
製品	1,969,878	1,599,660
仕掛品	1,056,712	948,850
原材料及び貯蔵品	7,924,660	7,430,563
繰延税金資産	48,428	75,669
未収還付法人税等	297,738	-
その他	396,026	151,732
貸倒引当金	2,219	1,986
流動資産合計	15,378,898	14,197,797
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	907,302	877,935
機械及び装置(純額)	725,464	690,179
土地	3,669,705	3,669,705
その他(純額)	654,146	691,688
有形固定資産合計	5,956,618	5,929,508
無形固定資産	203,534	178,966
投資その他の資産		
投資有価証券	688,548	705,637
繰延税金資産	112,725	124,138
その他	65,713	157,848
貸倒引当金	12,857	12,857
投資その他の資産合計	854,130	974,766
固定資産合計	7,014,283	7,083,242
資産合計	22,393,182	21,281,039
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	463,049	404,543
短期借入金	4,126,400	2,723,900
未払法人税等	8,105	125,666
賞与引当金	104,572	106,513
その他	422,741	508,405
流動負債合計	5,124,868	3,869,029
固定負債		
長期借入金	27,900	17,200
退職給付引当金	178,385	212,803
役員退職慰労引当金	399,693	410,220
その他	450	450
固定負債合計	606,428	640,673
負債合計	5,731,297	4,509,703



(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	13,366,884	13,468,166
自己株式	391,246	391,276
株主資本合計	16,494,218	16,595,471
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167,666	175,864
評価・換算差額等合計	167,666	175,864
純資産合計	16,661,885	16,771,336
負債純資産合計	22,393,182	21,281,039

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	5,559,351	5,631,274
売上原価	4,598,633	4,651,040
売上総利益	960,717	980,234
販売費及び一般管理費	828,468	787,212
営業利益	132,249	193,021
営業外収益		
受取利息	653	699
受取配当金	8,128	7,742
為替差益	-	14,277
その他	14,554	33,613
営業外収益合計	23,336	56,333
営業外費用		
支払利息	13,482	8,388
手形売却損	2,448	2,369
為替差損	31,692	-
その他	374	223
営業外費用合計	47,998	10,981
経常利益	107,586	238,373
特別損失		
固定資産処分損	879	1,302
投資有価証券評価損	79,314	-
減損損失	24,491	-
特別損失合計	104,686	1,302
税引前四半期純利益	2,900	237,070
法人税、住民税及び事業税	6,778	117,277
法人税等調整額	22,122	43,142
法人税等合計	28,901	74,135
四半期純利益又は四半期純損失( )	26,000	162,935

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,900	237,070
減価償却費	240,668	241,790
減損損失	24,491	-
受取利息及び受取配当金	8,782	8,442
支払利息	13,482	8,388
為替差損益(は益)	2,427	3,004
投資有価証券評価損益(は益)	79,314	-
売上債権の増減額(は増加)	426,916	232,871
たな卸資産の増減額(は増加)	1,135,469	972,176
前渡金の増減額(は増加)	693,203	304,262
仕入債務の増減額(は減少)	80,518	58,505
その他	93,970	50,420
小計	347,750	1,876,186
利息及び配当金の受取額	8,696	8,605
利息の支払額	16,040	8,458
法人税等の支払額	441,831	3,825
法人税等の還付額	-	297,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,425	2,170,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	271,080	300,132
定期預金の払戻による収入	101,542	271,080
有形固定資産の取得による支出	261,827	150,259
有形固定資産の売却による収入	12,706	-
無形固定資産の取得による支出	9,038	4,375
投資有価証券の取得による支出	2,924	4,402
投資有価証券の売却による収入	50,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	380,622	188,089
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	1,400,000
長期借入れによる収入	50,000	-
長期借入金の返済による支出	15,000	13,200
自己株式の取得による支出	167	29
配当金の支払額	61,374	62,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,458	1,475,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,427	3,004
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	306,161	509,451
現金及び現金同等物の期首残高	1,651,757	1,196,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,345,595	1,706,394

【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更 )

該当事項はありません。

( 四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 四半期貸借対照表関係 )

該当事項はありません。

( 四半期損益計算書関係 )

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
荷造運賃	166,732千円	168,833千円
賞与引当金繰入額	34,172千円	21,982千円
役員退職慰労引当金繰入額	19,078千円	10,527千円
退職給付費用	9,534千円	13,674千円

( 四半期キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,662,951千円	2,006,527千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	317,355千円	300,132千円
現金及び現金同等物	1,345,595千円	1,706,394千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月19日 定時株主総会	普通株式	61,654	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	61,653	6.00	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月18日 定時株主総会	普通株式	61,653	6.00	平成25年3月31日	平成25年6月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月25日 取締役会	普通株式	61,653	6.00	平成25年9月30日	平成25年11月29日	利益剰余金

(金融商品関係)

金融商品で、事業の運営において重要なものであり、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められるものはありません。

(有価証券関係)

時価のあるその他有価証券で、事業の運営において重要なものであり、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められるものはありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

持分法を適用した場合の投資損益につきましては、関連会社がありませんので記載していません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,180,861	1,119,669	258,593	5,559,124	226	5,559,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	226,366	67,137	-	293,503	-	293,503
計	4,407,228	1,186,806	258,593	5,852,628	226	5,852,854
セグメント利益又は損失 ( )	506,378	19,287	76	487,015	226	487,241

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	487,015
「その他」の区分の利益	226
全社費用(注)	354,992
四半期損益計算書の営業利益	132,249

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テルベン化 学製品	ホットメル ト接着剤	ラミネート 品	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,097,407	1,295,470	238,310	5,631,189	85	5,631,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	215,667	61,376	-	277,044	-	277,044
計	4,313,075	1,356,847	238,310	5,908,233	85	5,908,319
セグメント利益	445,804	48,097	6,094	499,996	85	500,081

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	499,996
「その他」の区分の利益	85
全社費用（注）	307,059
四半期損益計算書の営業利益	193,021

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	2円53銭	15円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	26,000	162,935
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純 損失金額( )(千円)	26,000	162,935
普通株式の期中平均株式数(株)	10,275,606	10,275,518

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年10月25日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 61,653千円

(ロ) 1株当たりの金額 6円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年11月29日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

ヤスハラケミカル株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 世良 敏昭 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中原 晃生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヤスハラケミカル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第56期事業年度の第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ヤスハラケミカル株式会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。